



Kun-ei Information

～大阪薫英女学院だより～

大阪薫英女学院中学校高等学校
企画広報部 発行
〒566-8501 摂津市正雀 1-4-1
TEL (直通): (06)6381-0335
FAX (直通): (06) 6381-5382
E-mail: kikaku@kun.ohs.ac.jp

＝2010 年度進路結果【中間報告】＝

2011.3.26 (土) 現在

【国公立大】14名							
東京外国語大学	1	千葉大学	1	岩手大学	1	滋賀大学	2
国際教養大学	1	京都府立大学	1	大阪府立大学	2	大阪市立大学	2
神戸市外国語大学	2	兵庫県立大学	1				
【私立大】411名							
早稲田大学	1	上智大学	1	明治大学	1	同志社大学	26
立命館大学	26	関西学院大学	33	関西大学	50	立命館アジア太平洋大学	2
京都産業大学	21	龍谷大学	16	近畿大学	24	甲南大学	3
北海道医療大学	1	東京女子大学	1	大東文化大学	2	拓殖大学	1
明治学院大学	3	京都女子大学	8	同志社女子大学	21	京都光華女子大学	7
京都文教大学	2	平安女学院大学	2	京都外国語大学	32	関西外国語大学	21
摂南大学	13	桃山学院大学	3	大阪経済大学	1	大阪電気通信大学	2
四天王寺大学	1	千里金蘭大学	5	大阪女学院大学	2	相愛大学	1
梅花女子大学	1	関西医療大学	1	関西福祉科学大学	1	神戸学院大学	11
神戸女学院大学	5	甲南女子大学	20	武庫川女子大学	14	大手前大学	1
神戸女子大学	3	神戸松蔭女子学院大学	14	神戸親和女子大学	1	神戸国際大学	1
園田学園女子大学	2	宝塚大学	1	天理大学	1	畿央大学	1
【私立大 薬学部】29名							
大阪薬科大学	1	近畿大学	2	摂南大学	8	大阪大谷大学	3
神戸薬科大学	3	武庫川女子大学	3	神戸学院大学	9		
【短期大学】15名							
創価女子短大	1	大阪音大短大部	1	大阪薫英女子短大	5	関西外国語大短大部	4
近畿大短大部	3	東大阪大短大部	1				
【看護専門学校】8名							
大阪府医師会看護	1	関西医科大学附属看護	1	大阪南医療センター附属看護	1	大阪済生会中津看護	3
松下看護	1	愛仁会看護助産	1				
【専門学校】8名							
ECCアーティスト	1	パリアルビューティコミュニケーション	2	ベルエポック美容	1	大阪デザイナー	2
育成調理師	1	大阪情報コンピュータ	1				

進路指導部より 今年度特筆すべき点は、国公立大学の合格者数が近年の最高値を記録したことです。中でも、大阪市立大学および大阪府立大学に合格者がいたことは注目に値します。この二大学のように、5教科7科目を必要とする大学入試に対応できる生徒が増えつつあることは、本校の学習指導の有効性を示すものであり、今後さらなる合格者増につながることを思います。また、卒業生の総数が減少した（昨年比35名減、一昨年比58名減）ことを合わせて考えると、国公立14名、関西同立135名（3/26現在）の合格は、すばらしい実績であったと言えるでしょう。これまでの受験指導のノウハウを蓄積した、進学ゼミやJトレーニングによる受験演習の内容は年々精査されており、生徒の実力を最大限に伸ばす指導が定着したことがうかがえると思います。

＝先輩たちの合格体験記 Vol. 1＝

今春の大学入試で合格を勝ちとった先輩たちの合格体験記を2回に分けて掲載いたします。1回目は中高一貫のS国際コース並びにS特進コースを卒業した先輩の合格体験記です。学習のスタイルはそれぞれですが、自分に合った勉強方法を確立して実行していた点は共通しています。みなさんも参考にしてみてください。

大阪市立大学 文学部

(S国際コース卒業 M,K)

S国際コースを選択した私の場合、中学3年から1年間NZに留学をしていたこともあり、正直なところ5教科7科目をやっていくのは大変でした。受験が終わり、痛感したのは、何よりも「自分に合った勉強法を見つける」ということです。例えば夜型だったり、朝型だったり、人それぞれ勉強仕方は様々です。友だちのやっていることを真似するのもよいですが、あくまで参考として自分に本当に合っているか試してみるのがベストだと思います。私の場合、家ではあまり集中出来なかったため、とにかく学校の自習室で一日の勉強をするようにしていました。

基本的には向こう2、3日のスケジュールを決めて、科目が多いので、時間は短くても多科目やるようにはしていました。

しかし、自習するというのは確かに自分のやるべき科目を好きな時間配分で出来ますが、反面だらけてしまいがちにもなってしまいます。実際私もスケジュール通りにいかないときは何度もありましたし、そのことでたくさん悩みもしました。そういう点では、時間をきっちり決めて集中出来る分、ゼミのほうが効率は良かったのかもしれませんが。課題も誰かから課される訳ではなく、自分で課さなければならないため、どうしても甘くなってしまうがちです。

ただ、やっぱり私にしてみると、自分で勉強して分からないところだけ先生に質問しに行くほうが、中身は濃い気がしたし効率も良かったので、後悔などは全くしていません。

ゼミをとるにしても、自分で勉強するにしても、どちらにもメリットデメリットがあるので、どちらが自分に合っているかよく考えて決めることが大切だと思います。

センター試験で予想以上に得点が伸びず、センターリサーチでE判定が出てしまった私が2次で挽回できたのも、自分に合った勉強法でやり続けたからだと思います。

受験をする上で、焦ったり、不満を持ったりと苦労することもあるかと思いますが、最後にはそれが自分の糧になると思って、頑張ってください。応援しています。

大阪市立大学 法学部

(S特進コース卒業 N,K)

私が市大を目指そうと思ったきっかけは、高1のときに学校から市大(特に図書館)に見学に行ったことでした。自分が行きたいと思える学校や学びたいと思う学科が早くから決まると目標が定まりモチベーションが上がると思います。

また、受験勉強というと特殊なことをするように思いがちですが、基本は学校で学習する内容の延長線ですので、私は基本的には学校で勉強することが中心でした。特に高1から高3の夏休みまでは基礎をどれだけ固められるかだと思います。文化祭以降は家では勉強しないと決めて(やるとしても暗記物くらい)学校にぎりぎりまで残ってやりました。絶対に夜は12時までに寝て朝早くおきて勉強するようにしていました。

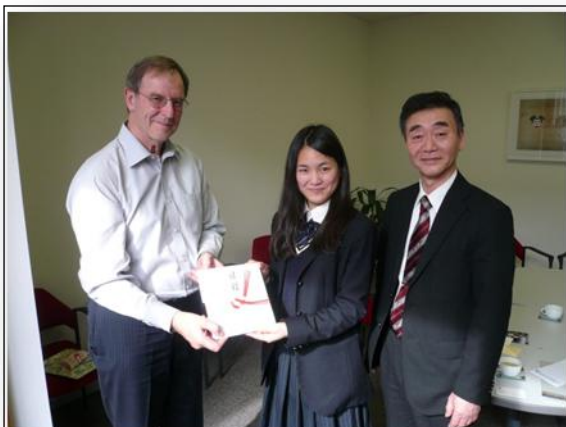
暗記が多い世界史に関しては基本的にはJトレを中心に最初から最後まで与えられたものを確実にこなせるようにやりました。英語はゼミとJトレで。ゼミで長文の読み方を聞いたら今までよりも読みやすくなりました。

センター直前はとにかく過去問と実践問題集を実際の時間よりも10分くらい早くとくようにしました(特に国語は解く順番も含めて2日に1本くらいのペースで)。本格的な2次対策は関関同立の試験が始まったところからやり始めました。3学期は授業がない期間は学校が開くときに行って自分の席で勉強しやすい環境でするようにしていた。

受験勉強が本格化すると、計画通りにいかないことだらけで嫌になるときも急に点数が下がるときもあります。私の場合は、そんな時が必ず誰にもあることだと信じて闇雲に落ち込んだりしないように平常心を保つようしていました。

あと、進路相談とかで担任の先生が言うことはそのときは違うと感じても後になって考えたら正しいことが多いので素直に聞くべきだな、と思いました。

5教科7科目の勉強は大変だと思いますが、一つ一つ着実にやっていけば必ず結果はついてくると信じてみなさんも頑張ってください。



NZに心を届けました

双葉会が中心となって活動してきましたニュージーランド義援金募集ですが、多くの方のご協力をいただきました。改めてお礼申し上げます。

ご協力していただきました義援金はNZ大使館を通じて、送金していただくことになりました。

先日、大使館に赴き、ニュージーランド大使に双葉会を代表して生徒会長の松浦真紀さんが義援金を手渡しました。

